

平成十八年九月六日

## 祝・秋篠宮家男子誕生

### おめでとう御座居ます

紀子さまが男の子を出産され、日本の皇室に四十一年ぶりの男子が誕生しました。

#### 神聖画 秋篠宮家に届けられた、大正腑天神の霊神力氣の理

平成十六年十一月三十日、秋篠宮家に、神聖画が届けられました。

平成十七年 夏 天皇皇后陛下・サイパン島へ戦争殉難者慰霊の御巡幸

平成十八年 二月 皇室典範改正を国会で小泉首相と菅直人で論議中、紀子さま御懐妊。

平成十八年 夏 天皇皇后陛下・東南アジアへ戦争殉難者慰霊の御巡幸

平成十八年九月六日 午前八時二十八分誕生・体重二五八<sup>グラム</sup>・身長四八、八<sup>cm</sup>

今から約四二〇年前、世襲最期の伊邪那岐尊・伊邪那身命は志摩の国「伊雑ヶ浦」磯にお住まいに成り、その地を都と定められ、山育り植林と、田造り稲作りに勤しみ国造りにお励みになっていました。

ある日、世襲最後の伊邪那身命さまは、ハヤスサノ才尊の次になるお子を身籠って、現在の花の窟屋の辺りで、田作り稲作りに励んでいた時、急に産氣付き、窟屋の陰に入り一人でお産をこころみました。出血多量により母子ともに亡くなりました。

長男アマテルカミ尊・豊受大臣は斎王家となられ、此の大八州（日本列島）を無血で以って統一国家の建設を目指していました。そんな時、丹波国の真名井原丹庭の地にて、伊勢生成の神を拝受され、その地に伊勢生成の神をお祀りになりました。その伊勢生成の神を、志摩の神路山の麓、五十鈴川の辺の神靈地に與謝宮（内宮）をお移し申し上げになり、北極から加賀白山、岐阜羽島、伊勢神宮、そして南極に至る神筋（国津神）と、年に一度だけ太陽が地球に一番近づく神筋（天津神）をもって、この邊津地球の東西の神祇の地と定められました。そして東西左右氣の氣分けの神筋（国津神）を

この度の紀子さまのお産される時の状態が似て居るような氣が致します。

お産は撥水と同時に赤ちゃんが生まれ、その後胎盤がはがれて後さんが出て、「臍<sup>へそ</sup>のを」を切り取る手順ではないでしょうか。

この度の紀子さまは、子宮の入口まで胎盤が来ていたために、帝王切開をなされて母子ともに無事に御産となったことです。世襲最期の伊邪那身命様の時代は考えられないことではないでしょう。

世襲最期の伊邪那岐尊・伊邪那身命の嫡子アマテルカミ尊と弟ハヤスサノ才尊は、父母を亡くされて約三十数年後、現在のように由基の国と主基の国とが、武器を造り戦争となるを避けるために、多度の天王平で御難賛助の御誓約をされて、伊勢生成の神をお祀りされたアマテルカミ尊と共に統一国家をされました。

平成元年二月二十四日昭和天皇の大喪の礼に、加古殿が天皇の大御意志を見せられ、その後伊勢生成の神「大正腑天神の大霊神理氣」の理を御啓示お受けされ、改めて命の大切さを伝えるために、今度は「世界平和神宮院・竝宮昭和

神宮」を今上陛下の命により建立させ、全世界を統一国家していく道しるべを  
されているのでございます。

初代伊邪那岐尊吉野山の三つの霊石後役小角の「金剛蔵王権現」

越知山泰澄大師の三所権現

弘法大師の三大太元帥明王

平成十三年十月十九日

和田仙心和尚加古殿に、表紙に三十八臂太元帥明

王像を刺繍した冊子が贈られて来ました。

それが人祖「初代」伊邪那岐尊・伊邪那身命

さま家族の御姿である事を伝えられました。

御啓示

平成十四年六月六日芒種の日太元帥明王さま、大正腑の大霊神理氣の元に

お出ましする予言

平成十